

卒業生の皆様

在校生並びに保護者の皆様

「微量採血のための穿刺（せんし）器具」の複数者使用に関する報告とお詫び

先般、島根県内の医療機関による「微量採血用穿刺（せんし）器具」に関する報道がされました。その後も全国で同様な使用事実が報告されニュース等で報道されています。このことについて、所管の厚生労働省が全国の医療機関及び養成施設（本学では栄養士・管理栄養士施設）での調査を開始し使用実態の確認を行っているところです。

過日、本学に対しても調査の要請があり、調査を行いました。その結果、短期大学生活科学科食物栄養専攻（専攻科食物栄養専攻を含む）、大学総合人間科学部健康栄養学科の実験・演習科目の中で血液関連実験の際に、微量採血用の穿刺器具を用いていることがわかりました。

実験・演習での採血針は1回毎に使い捨てされていたものの、先端カバーを交換せずに複数の学生に使用していたことがわかりました。いわゆる「針刺し事故」とは違い針が複数の学生に使用されていないこと、採血量が微量であり、先端カバーについての血液が付着する可能性が低いことなどから、肝炎ウイルス等の感染の可能性は極めて低いものと思われま

す。以上のことから、卒業生も含め、学生の皆さんが本学の演習における微量採血用穿刺（せんし）器具の複数者使用により肝炎等感染した危険性が極めて低いと考えておりますが、ご心配の方もいらっしゃるのではないかと思います。卒業後或は在学中に「血液検査」をしておられない方は、医療機関で血液検査（肝炎等感染症の検査）をお受けになるようお勧めいたします。

なお、対象となる方々は、以下に記した「使用した授業及び対象年度」で履修された方々が該当となります。

血液検査費用については、大学が負担しますので、別紙「検査料申請書」に領収書（原本）を添えて、申請していただきますようお願いいたします。

また、血液検査期間を8月末日までとさせていただきますので、宜しくご協力の程お願い申し上げます。

本学の教育現場において、在學生、卒業生及び保護者の皆様に大変なご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後、大学として再発防止に向け全力で取り組む所存であります。

記

1. 学科で使用した授業及び対象年度

1) 短期大学生活科学科食物栄養専攻 2年次：「解剖生理学実験」

対象年度⇒1998（平成10）年度～2003（平成15）年度

2) 短期大学専攻科食物栄養専攻 1年次：「基礎演習」

対象年度⇒1999（平成11）年度～2004（平成16）年度

- 3) 大学総合人間科学部健康栄養学科 2 年次：「解剖生理学実験Ⅱ」
対象年度⇒2004（平成 16）年度～2007（平成 19）年度

2. 製品名：マイクロレット（バイエル薬品株式会社）

【形状・構造等】

【各部の名称】



3. 使用目的：血液型判定、血糖値、HbA_{1c}、ヘマトクリット値検査（希望者のみ）
4. 使用状況：採血針（ランセット）は 1 回ごと交換。マイクロレットの先端カバー部分は複数個用意し、アルコール消毒及び洗浄し、使用していた。

以 上

2008（平成 20）年 7 月 16 日
尚綱学院大学・同女子短期大学部
学 長 佐々木 公明

（お知らせ）

- *対象となる卒業生の皆様には、別途文書にて発送しております。また、在学生については、学内広報等で連絡をしております。
- *既に卒業生宛に発送した文書に一部（対象年度）誤りがありましたので、以下のように訂正させていただきます。

- 1) 短期大学生生活科学科食物栄養専攻 2 年次：「解剖生理学実験」
（誤）対象年度⇒1997（平成 9）年度～2003（平成 15）年度
（正）対象年度⇒1998（平成 10）年度～2003（平成 15）年度

【相談窓口：尚綱学院大学 総務課】

TEL：022-381-3300

FAX：022-381-3325